



場所の記憶・歴史を呼び覚まし、地域の魅力を共有するプロジェクト

モダン宝塚の レガシー

—関西随一のモダン仙境—

2021年4月24日（土）～6月21日（月）

宝塚市立文化芸術センター2階 メインギャラリー

●武庫川の左岸と右岸で繰り広げられた、知られざる宝塚のあゆみを紹介

阪急東宝グループの創業者・小林一三（こばやし いちぞう）が拓いた左岸側の“歌劇の街”だけではなく、右岸側の温泉地だった歴史などおよそ90年にわたる宝塚の魅力をひも解きます。

●昭和初期の宝塚を撮影した8ミリフィルムを上映！

昭和初期の宝塚で撮影された8ミリフィルムが発見されました。当時宝塚を訪れた人々や日常生活を動画でご覧いただけます。

●「宝塚ファミリーランドの思い出写真展」に一般募集の写真を展示！

一般募集により、「宝塚ファミリーランド」で撮影された笑顔あふれる200枚を超える写真が集まりました。当センターが出来た場所の記憶や歴史を呼び覚まし、世代を超えて多くの人々とともに宝塚の魅力を共有していただけます。《会期中、関連事業も開催予定》



Takara hot spring Takarazuka, Settsu. 面正ノ泉温寶泉温新塚寶 津攝

▲摂津 宝塚新温泉宝温泉ノ正面
(宝塚市立中央図書館蔵)



▲宝塚市立文化芸術センター

見どころ

関西随一の仙境「モダン宝塚」とは？

歴史を中心に宝塚の魅力を紐解く。

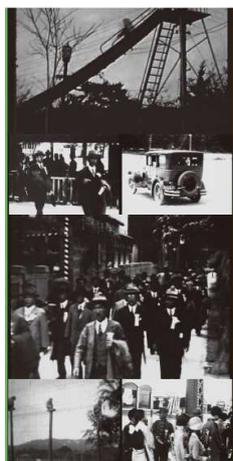
宝塚は、阪急東宝グループの創業者・小林一三が手がけた宝塚歌劇団の本拠地であり、宝塚大劇場のある『歌劇の街』として全国的に知られています。関西有数の住宅地としても発展した宝塚ですが、近年になって人々のライフスタイルの変化にともないタワーマンションの開発も見られるようになりました。家族単位の娯楽のあり方も変化し、2003年4月に宝塚ファミリーランドが、2013年に宝塚ガーデンフィールズが閉園。跡地には、2020年6月に宝塚市による市立文化芸術センターが一部オープン。時を同じくして、老朽化にともない宝塚ホテルが宝塚南口から宝塚大劇場の西側隣接地に移転開業しました。

かつて宝塚には、保養地としての旧温泉と、家族連れのリクリエーション施設としての新温泉が共存しました。旧温泉のパンフレットには「関西随一のモダン仙境」とうたわれています。稀有な仙境であった温泉地としての歴史を中心に、動画や絵葉書でモダン宝塚をひも解きます。

文化は突然生まれるものではない。その場所の必然である。モダン宝塚のアイデンティティを未来に繋げる展覧会です。



▲摂津 宝塚新温泉宝温泉ノ正面
(宝塚市立中央図書館蔵)



▲8ミリフィルム
(神戸映画資料館提供)

昭和初期の宝塚を撮影した8ミリフィルムを 上映！

昭和初期の宝塚を撮影した8ミリフィルムを上映します。宝塚を訪れたと思われる当時の人々の様子や日常の生活を動画でご覧いただけます。

「宝塚ファミリーランドの思い出写真展」で 場所の記憶を呼び覚ます

かつて関西屈指の動物園と遊園地として多くの方に愛された「宝塚ファミリーランド」。その跡地の一部が整地され、現在の宝塚市立文化芸術センターができました。今回、宝塚ファミリーランドの思い出写真展で場所の記憶を呼び覚まし、世代を超えて共有してみませんか。



▲宝塚ファミリーランド
(1961年)



概要

展覧会名称：モダン宝塚のレガシー ー関西随一のモダン仙境ー

会 期：2021年4月24日（土）～6月21日（月）

休 館 日：毎週水曜日 ※5月5日（水・祝）は開館

開館時間：10：00～18：00（入場は17：30まで）

会 場：宝塚市立文化芸術センター2Fメインギャラリー

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7-64

公式WEBサイト <https://takarazuka-arts-center.jp>

観 覧 料：一般（高校生以上）1,000円、中学生以下無料

※障がい者手帳提示でご本人様、付添の方1名まで無料

問い合わせ：宝塚市立文化芸術センター TEL:0797-62-6800

主 催：宝塚市立文化芸術センター（指定管理者：宝塚みらい創造ファクトリー）

特別協力：宝塚市立中央図書館市史資料室

協 力：一般社団法人宝塚まち遊び委員会、株式会社 大林組、
公益財団法人阪急文化財団、神戸映画資料館、宝塚ホテル、
阪急電鉄株式会社、ホテル若水

後 援：神戸新聞社

関連事業

1. 歴史を祝う。

本展で紹介する施設が会期中に開業日を迎えます。各日メインギャラリー入場の先着2名様に、記念品をプレゼント！（要観覧料）

5月1日（土）宝塚新温泉開業（1911年）

6月1日（火）宝塚市立文化芸術センターメインギャラリーオープン（2020年）

6月11日（金）宝塚温泉開業式（1887年）

6月21日（月）宝塚ホテル開館移転開業（2020年）

2. 本展執筆者によるギャラリートーク

会 場：メインギャラリー（要観覧料）

- ・ 5月15日（土）14:00～15:00／倉橋滋樹氏（宝塚市域史研究家）
- ・ 5月29日（土）14:00～15:00／鈴木博氏（郷土史家）

3. まち遊びワークショップ「宝塚新旧温泉ブラあるき」

日時：6月6日（日）13:30～16:30（予定）

コース：宝塚市立文化芸術センター（集合・出発）～旧温泉（月のみち）
～新温泉（花のみち）～センター帰着

案内人：北夙川不可止氏（宝塚まち遊び委員会理事）

参加費：500円（保険料込）

定員：30名先着

申込：5月7日（金）9:00～

一般社団法人宝塚まち遊び委員会 TEL：0797 86 2232

email：info@tkz.machiasobi.net

展示 構成

第1章 娯楽から見るモダン都市宝塚。 地方都市と少女歌劇

第一次世界大戦を転機に、日本の資本主義は急速に発展、都市化を促進していきます。都市やその周辺の住宅地での、モダンなライフスタイルの欲求を充足できる電気や交通インフラ、娯楽施設の充実が図られました。

宝塚においても、健康的でモダンな生活を求めて移り住んだ人たちが作った郊外住宅地と、鉄道の開通、そして宝塚新温泉を作り、同温泉のモダンなイメージづくりに西洋音楽を取り入れた新たな娯楽の一分野を切り開いた少女歌劇が人気を博します。

2024年に市制70周年を迎えるモダン都市宝塚のあゆみと、武庫川左岸に開業した宝塚新温泉についてご紹介します。



▲昭和8年2月 宝塚大橋渡り初め（宝塚市立中央図書館蔵）

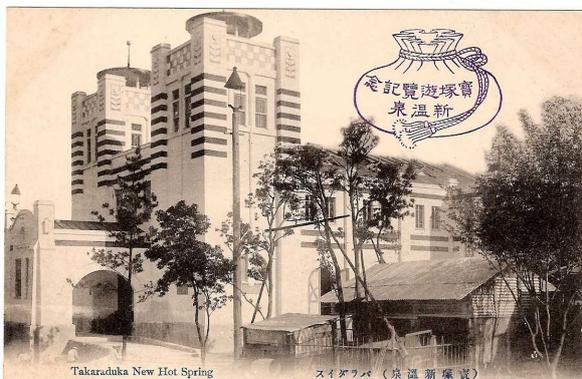
展示
構成

第2章 関西随一のモダン仙境 宝塚の温泉場と旅館、ホテル。

宝塚は武庫川をはさんで右岸に宝塚旧温泉、左岸側に宝塚新温泉が共存した稀有な仙境です。

箕面有馬電気軌道の開通は、宝塚新温泉の開業はもとより、右岸側宝塚温泉への来訪者も大いに増加しました。昭和に入り、モダンライフスタイルの流行から宝塚温泉は旅館から宝塚旧温泉ホテルへの建て替えや、宝塚ホテルなどの近代的な洋風の建物とともに発展します。

武庫川右岸ものがたり、忘れざる宝塚温泉の変遷を振り返ります。



▲パラダイス（戦前）個人蔵

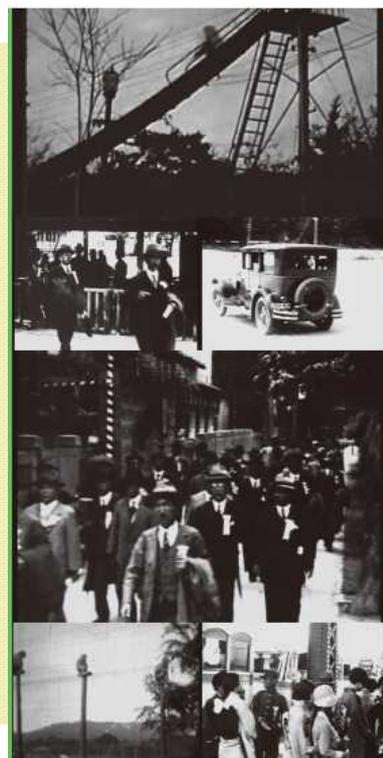


▲2代目温泉場正面（戦前）個人蔵

昭和初期の宝塚を撮影した 8ミリフィルムを上映！

昭和初期の宝塚を撮影した8ミリフィルムを上映します。
宝塚を訪れたと思われる当時の人々の様子や日常の生活をご覧いただけます。

8ミリフィルム▶
(神戸映画資料館提供)



展示 構成

第3章 宝塚ファミリーランド、 ガーデンフィールズから 宝塚市立文化芸術センターへ。

宝塚市立文化芸術センターができたこの場所は、モダン宝塚を象徴する新温泉（のちの宝塚ファミリーランド）があった場所。子どもから大人まで、世代を超えた思い出の場でした。センターには、ファミリーランドやガーデンフィールズを懐かしんで多くの方がお越しになります。

展示施設であるセンターのメインギャラリーで、一般募集による「宝塚ファミリーランドの思い出写真展」を開催します。この場所が、多くの笑顔と喜びを提供してくれた記憶を呼び覚ますプロジェクトです。



▲宝塚ファミリーランド（1961年）



▲宝塚ファミリーランド（1990年）



▲宝塚ファミリーランド（1985年）

《報道関係者お問い合わせ先》

宝塚市立文化芸術センター 広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・松ヶ根
TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 E-mail：takarazuka@tm-office.co.jp

宝塚市立文化芸術センターWEBサイト
URL：<https://takarazuka-arts-center.jp>



◀アクセス
QRコード